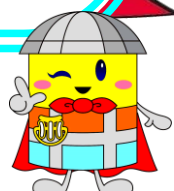


R6 まるい校舎

加古川市立川西小学校
校長室だより 第9号
令和6年7月8日

暑い夏がやってきました



7月5日（木）、兵庫県で今年度初の「熱中症警戒アラート」が発表されました。晴天が続いていることもあり、初回以降、今日（7/8）まで、4日間連続で「熱中症警戒アラート」が発表されています。

環境省による「熱中症警戒アラート」は、暑さ指数（WBGT）を基準として発表されています。暑さ指数が「33」を超えそうな場合に「熱中症警戒アラート」、暑さ指数が「35」を超えそうなときには「熱中症特別警戒アラート」が発表されることになっています。アラートが発表されていないときも、暑さ指数が「31」を超えると屋外での運動は熱中症になる危険が高いとされています。

川西小でも屋外（運動場）と屋内（体育館）で暑さ指数計を設置して、子どもたちも暑さ指数を確認できるようにしています。暑さ指数が高い場合は、屋外での活動を制限することになっていて、低学年の中にも、暑さ指数が「31」を超えているから外では遊べないということを読み取れる子もいます。

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

暑さ指数(WBGT)に基づく「運動に関する指針」 環境省HPより



先週末（金曜日）は、朝から厳しい暑さでした。屋外（運動場）に設置している暑さ指数計は、一時、驚くほどの数値を表示しました。

暑さ指数（WBGT） 35.7℃
黒球（周囲）温度 41.6℃
湿度 47.3%



当日は、3年生が社会科の学習でマックスバリュまで徒歩移動する予定でしたが、出発時刻が近づいても屋外の暑さ指数が下がる様子がなかったため、急きょマックスバリュまで行くのを取りやめました。

午後になると弱い風が吹いて、少しだけ暑さが弱まったように思いましたが、低学年の下校時刻になっても日差しは強く、「暑いから止まらずに帰ろう！」という声が聞こえてくるほどでした。

今朝（7/8）も朝から日差しが強くて、暑そうに真っ赤な顔で登校してくる子がいました。終業式まで2週間と少し残っています。ネッククーラーや日傘などで、登下校時の熱中症対策もしっかり行って、暑い夏に負けずにしっかり1学期を頑張りぬいてほしいと思います。

引き続き、ご家庭でもお子様の体調管理にご協力をお願いします。

